

# 岐阜県家庭教育学級実践事例

## 講演会型+園行事参加型(こども園)

学校名等	輪之内町立福束こども園・大藪こども園・仁木こども園
実施日時	令和6年6月18日(火)・19日(木)・20日(金)
会場	各こども園
参加人数	全園児の保護者(のべ214名)
学習課題(分野)	講演「昭和 平成 令和の子育て」
運営者の願い	子育ては多様化し、時代と共に変わってきているが、子育ては「辛い」のではなく「楽しい」と思える環境を整えていきたい。そのためには、講話を通して就学前に今家庭でできることに気づき、家庭での子育てに生かしてほしい。
学習の内容	
<b>&lt; 日程 &gt;</b> ① 8:15~8:45 除草活動 ② 9:00~9:30 講演会「昭和 平成 令和の子育て」 ③ 9:30~ 保育参観「ふれあい遊び・運動遊び」	
<b>&lt; 除草作業 &gt;</b> ・ 子ども達が、遊ぶ園庭の除草作業を行っていただいた。 ・ 年長児は、回収の手伝いをした。	
<b>&lt; 講演会 &gt;</b> 講師を昨年度と同じ若野先生に依頼をし、保護者の子育ての悩みを「昭和・平成・令和」で具体的に分かりやすく、保護者に伝えていただいた。「自分だけではない」共有できる時間を設けた。 ・ 昭和:夫は仕事、妻は家事。平成:夫も親として子育てに関わること大事。令和は育休制度の充実。→父親も積極的に子育てに参加。 ・ スマホやタブレット ゲーム機の使用が多く、外遊びが少ない。 ・ 子どもに話しかけることが少ない。 ⇒ 語彙数の減少 ・ 外遊びをすることが減った。 ⇒ 運動量減少 体幹弱い ・ 「勉強できるからいい。」「運動できない子多い。」ではなく、「体を使うと頭も成長する」ことを忘れずにしたい。	
<b>&lt; 保育参観 &gt;</b> ・ 年中・年長は、外部講師に依頼をしている「運動遊び」を見てもらい、全身を使った遊びや親子で出来ること。など教えてもらった。 ・ 未満児や年少は、親子でのふれあい遊びや園での様子などを参観してもらうことができた。	
<b>&lt; 保護者の声 &gt;</b> ・ 時代は流れているが、人間としては変わっていません。環境が取り巻く影響を知り、家族で話し合っていきたいです。 ・ 具体的にどういう遊びをしたらよいか知ることができました。(おはじきや豆を摘まむこと。一緒に遊ぶこと) ・ 「あれ。これ。それ。」とつい言ってしまいます。「コップとってね!」など名称を教えることの大切さを知りました。 ※ 講演会では、具体的なで分かりやすかったと好評だった。 ※ 外部講師の運動遊びは、「どんな事をしているのか」と保護者の疑問に対し、子ども達が楽しく参加している姿、家では見られない姿を見る機会がありよかった。	



### 開催日の工夫

多数の保護者が参加していただけるように、除草作業・保育参観の間に講話の時間を設定した。



### 町合同の取組

輪之内町として保護者の共通理解が進むよう、3園が同じ内容、同じ日程で開催する。